

ウェルビーイング (well-being) の 種まきと日本医学会総会



大阪府医師会理事
清水 智之

来年（令和9年）の4月23日～25日の3日間、第32回日本医学会総会2027が20年ぶりに大阪で開催されます。澤芳樹会頭は大阪府医師会副会長でもおられ、本総会では、「アカデミアと実地の融合」も課題の一つに掲げています。

前回の東京大会の視察では、U40の大変有意義な取り組み発表に感銘を受け、その流れで後に勤務医部会にU40 OSAKA勤務医部会を立ち上げました。当時は、市民展示も同時期に行われていました。本総会を通して、今後も「医師会って色々な活動をしているのだな」「医師会って面白いこともしているのだな」と医師会に入ろうと思ってもらえるような活動をしていきたいと考えております。

さて、本総会の市民展示は3月20日～28日に期間を別としてうめきたエリアで行われます。万博の後、大きな会が大阪でないと聞き、ぜひとも盛り上げたいとの思いから市民展示へ協力することとなりました。「ウェルビーイングチャレンジ2027」と名付け、絶賛企画中であります。

澤会頭からは、「ウェルビーイングだけではなく、ウェルダイイングにも取り組んでほしい」とも言われております。医学というと、どうしても子育て世代や高齢者世代が多く来られ

る傾向ですが、今回私の担当するエリアは若者が多く集まるグラングリーン大阪です。これをきっかけに、医学に触れる機会のあまりない若い世代にも機会の創出を考えています。

ウェルビーイング研究の第一人者の前野隆司・武蔵野大学ウェルビーイング学部長／教授（兼任）も招聘し、大阪・関西でのウェルビーイングの普及に努めてまいります。まだまだ言葉自体の認知度も低いですが、ふと通りがかった方が、なんとなく「この考え方は良いよね」と感じてもらえるようになればと思っております。その時には分からなくても、将来、芽が出て花が咲くように、今から種まきをするという地道な活動を始めており、総会はその道の途中の発表会という位置付けでもあります。ACP（アドバンス・ケア・プランニング）だけでなく、プレコンセプションケアをはじめとした医学と直接関連するものもあれば、ウェルビーイング×お金・生きる資本、ウェルビーイング×教育など切り口は無限大です。そこに、さらに医学を掛け算できるととても良い機会だと思います。

ぜひ、医学会総会学術集会への参加登録とともに、市民展示へはご家族と一緒に足をお運びいただければ幸いです。